

ネットワークカード F/W 更新手順

以下にネットワークカード F/W の更新手順を記述します。

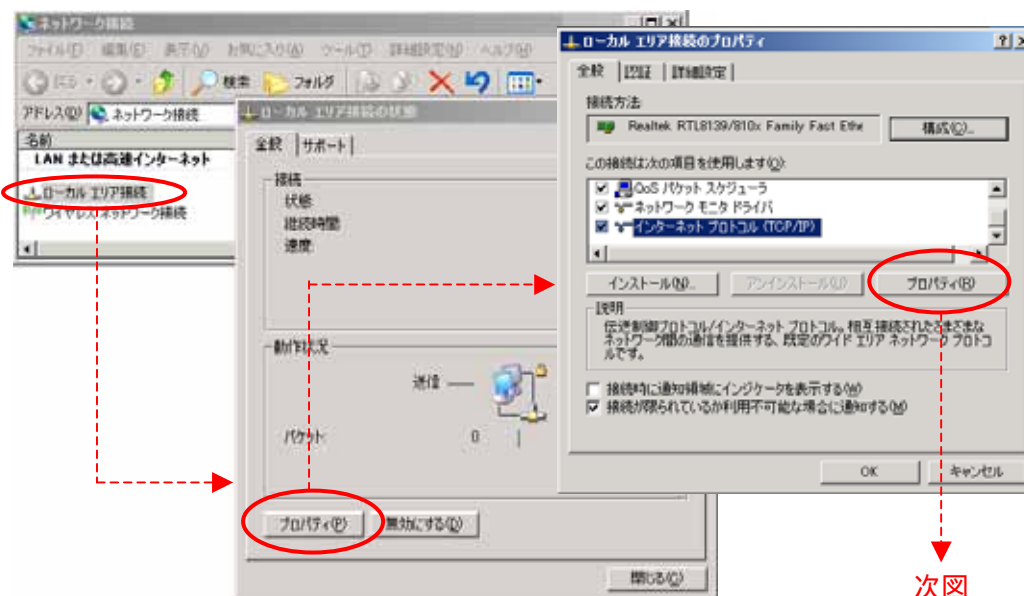
【用意するもの】

- ・UPS(対象ネットワークカード)
- ・作業用 PC(対応 OS は以下の通り)
Windows XP, Windows Vista, Windows 7, Windows 2000, Windows Server2003
- ・リセット用の細い棒(直径 2 mm 程度のドライバ、ボールペン、または爪楊枝など)
- ・クロス配線のネットワークケーブル(クロスケーブル)
- ・更新用ソフト
ネットワークカード F/W(image.bin)
F/W 更新ツール(FwUpdate.exe)
既定値用ファイル(default.txt)

【作業用 PC の準備】

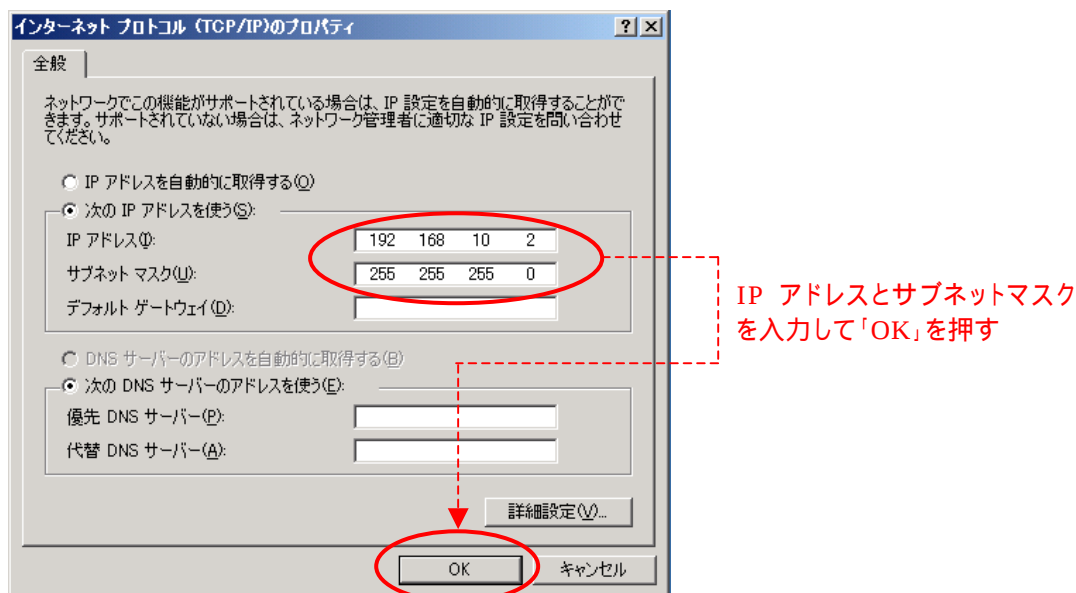
1. IP アドレスの設定

作業用 PC の IP アドレスを、UPS(対象ネットワークカード)の IP アドレスと同じネットワークアドレスに設定する必要があります。例えば、UPS の IP アドレスがデフォルトの 192.168.10.1 なら、PC の IP アドレスを 192.168.10.X(X は 2 ~ 254 の数値)に設定してください。



具体的には、「設定」メニューから「ネットワーク接続」を選び、その中から「ローカルエリア接

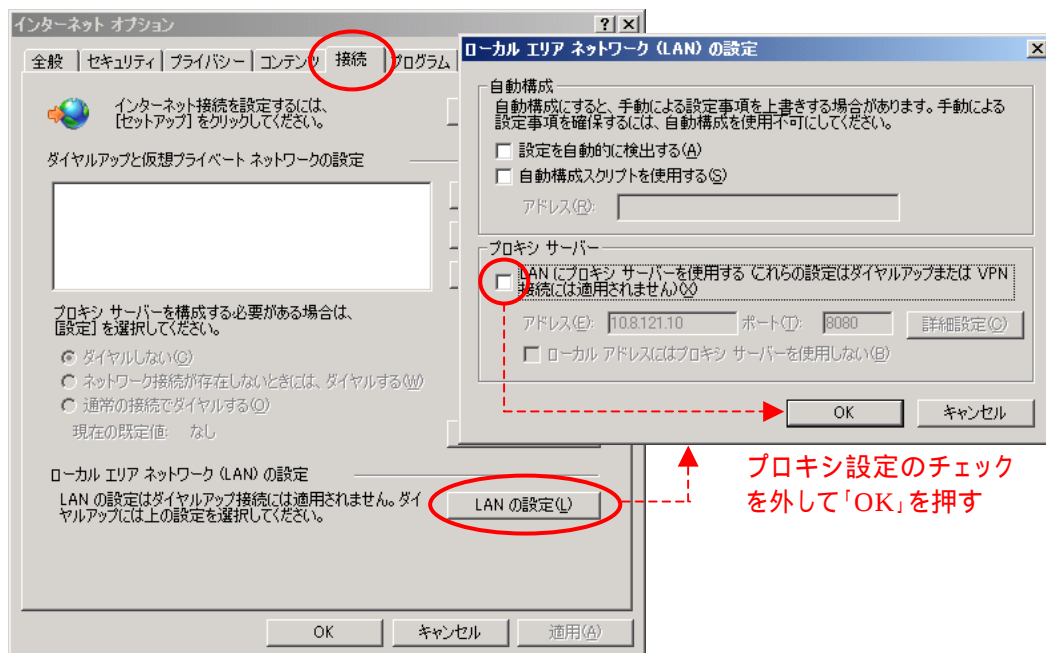
続」を選ぶと「ローカルエリア接続の状態」の画面(上図中)が開きます。さらに「プロパティ」のボタンを押すと「ローカルエリア接続のプロパティ」の画面(上図右)が開くので、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選んで「プロパティ」のボタンを押します。すると、「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」の画面が開くので、そこで IP アドレスを設定してください。



(注) 変更の前に、必ず設定をメモしておいてください。

2 . Web のプロキシ設定を外す

作業用 PC の Web でプロキシの設定がされていると UPS (対象ネットワークカード) と接続できません。必ず Web のプロキシ設定をオフにしてください。



具体的には、Web ブラウザの「ツール」メニューから「インターネットオプション」を選ぶとタブ付画面(上図左)が開きます。その中から「接続」のページを開き「LAN の設定」のボタンを押すと、「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」の画面(上図右)が開くので、プロキシサーバーの設定を確認してください。もし、「LAN にプロキシサーバーを使用する」の項目がチェック(✓)されていたら、チェックを外して「OK」を押してください。

(注) 変更の前に、必ず設定をメモしておいてください。

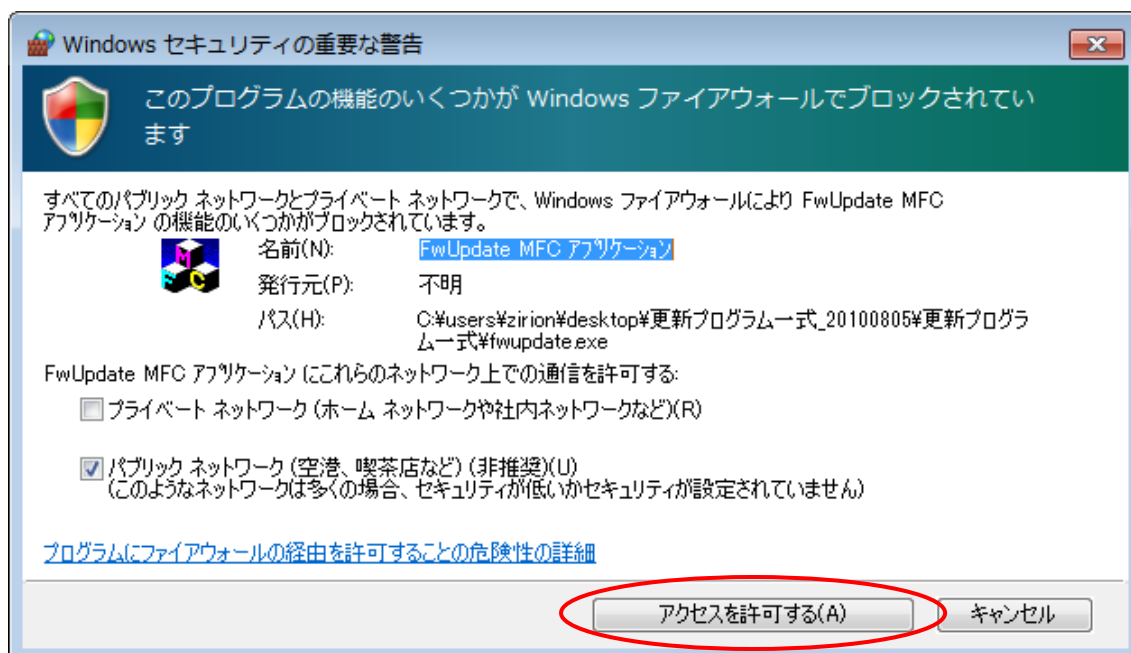
3. 作業用ディレクトリの作成

作業用 PC に作業用ディレクトリを作ります。例えば、PC のデスクトップ上に WORK というディレクトリを作ります(既存のディレクトリを使ってもいいです)。

次に、「image.bin」、「FwUpdate.exe」、「default.txt」の3つのファイルをその作業用ディレクトリにコピーしてください。この3つのファイルは、必ず、同じディレクトリに置かれなければなりません。

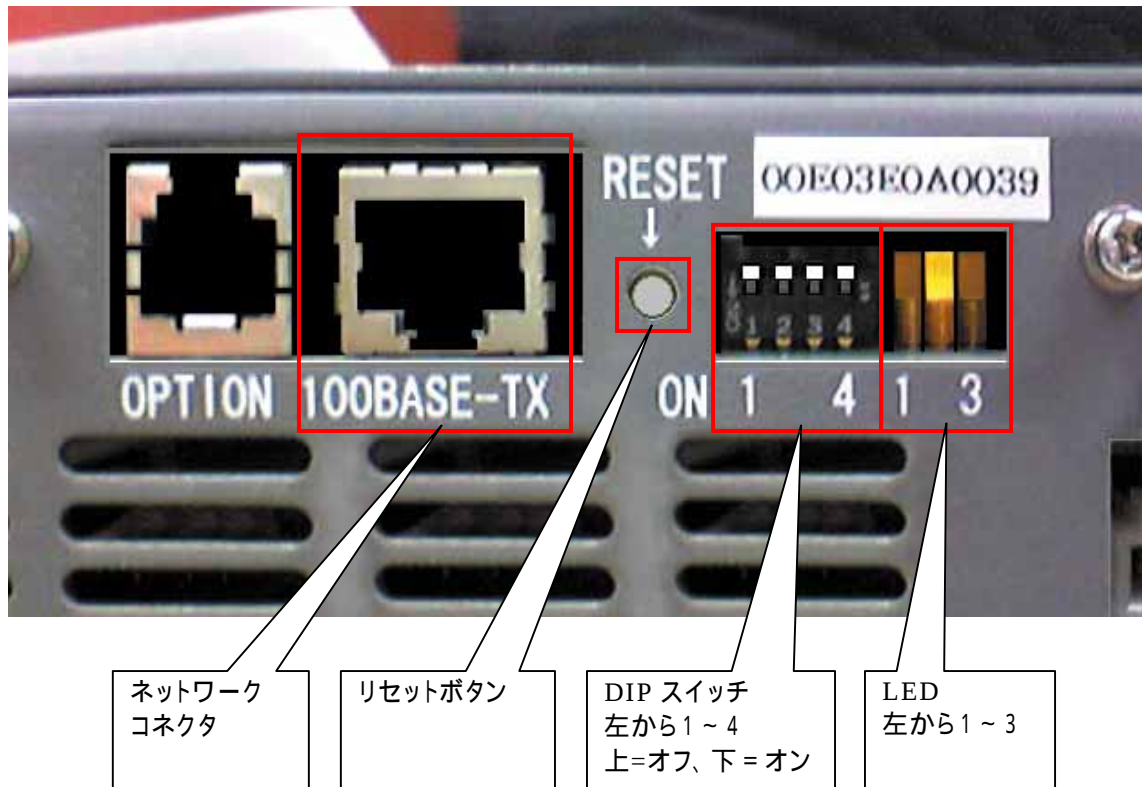
【セキュリティ対応】

Windows Vista, Windows 7 等でプログラムを実行する際、セキュリティの強化により以下のような警告画面が表示されることがあります。その場合は、「アクセスを許可する」を押下して作業を進めてください。



【UPS 背面】

以下に、UPS 背面のネットワークコネクタ、リセットボタン、DIP スイッチ、LED を示します。更新作業はこれ等进行操作、もしくは状態を見ながら進めます。



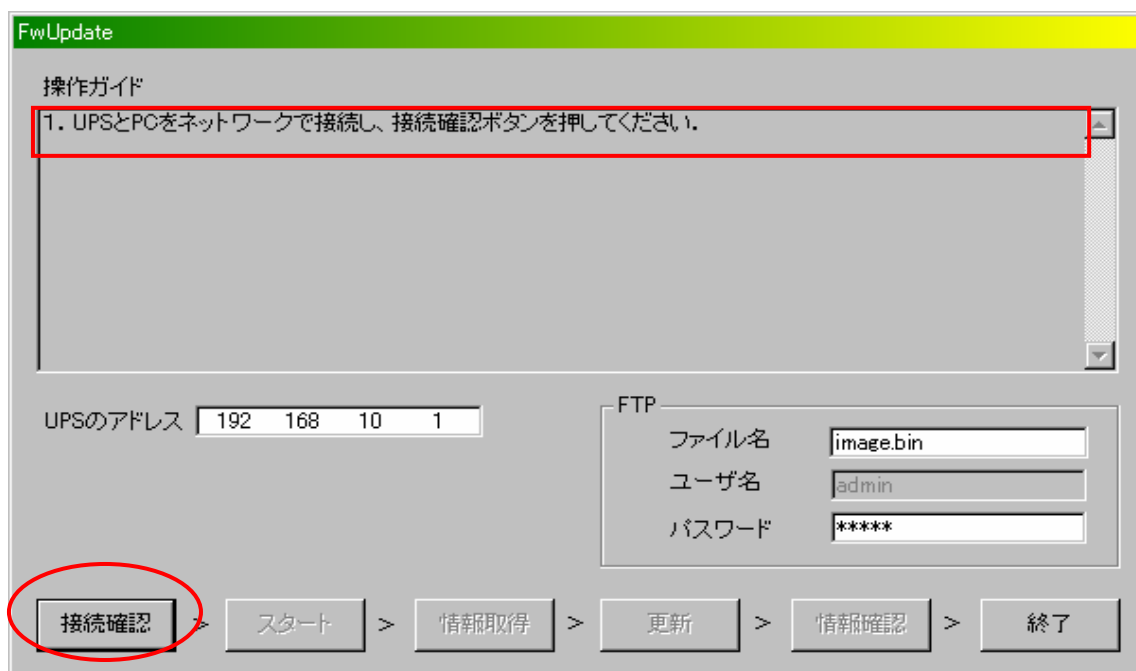
【更新手順】

1. 接続確認

作業用 PC と UPS 背面のネットワークコネクタをクロスケーブルでつなぎます。

作業用ディレクトリにコピーされている F/W 更新ツール「FwUpdate.exe」をダブルクリックして起動します。

プログラムが起動すると、以下の画面が表示されます。



UPS と PC をネットワークで接続し、「接続確認」ボタンを押下すると「スタート」画面に移ります。

2. スタート

前頁で「接続確認」ボタンを押下すると、以下の画面が表示されます。

FwUpdate

操作ガイド

1. UPSとPCをネットワークで接続し、接続確認ボタンを押してください。
2. DIPスイッチの1～4を全てオフ(上)にして、カードをリセットしてください。
LED1が1秒間隔で点滅するのを確認して、スタートボタンを押してください。

UPSのアドレス 192 168 10 1

FTP

ファイル名 image.bin

ユーザ名 admin

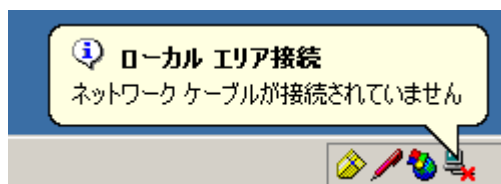
パスワード *****

接続確認 > スタート > 情報取得 > 更新 > 情報確認 > 終了

DIP スwitch の 1 ～ 4 を全てオフ(上)にして、UPS のリセットボタンを押します。カードがリセットされ一旦 LED が全て消灯した後、カードの起動処理が始まります。しばらくして LED1 が 1 秒間隔で点滅するのを待って「スタート」ボタンを押下します。

「スタート」ボタンを押下すると「登録済情報取得」画面に移ります。

(注) カードをリセットすると、画面の右下に以下のようなメッセージが現れることがあります。



これはリセットによりネットワークが一時的に切断されるためで、正常な動作です。作業をそのまま継続して差し支えありません。

以降にもカードをリセットする操作があり、同様の現象が発生することがありますが、いずれも問題ありません。

3. 登録済情報取得

前頁で「スタート」ボタンを押下すると、以下の画面が表示されます。

FwUpdate

操作ガイド

1. UPSとPCをネットワークで接続し、接続確認ボタンを押してください。
2. DIPスイッチの1～4を全てオフ(上)にして、カードをリセットしてください。
LED1が1秒間隔で点滅するのを確認して、スタートボタンを押してください。
3. UPSのアドレス、パスワードをセットして、情報取得ボタンを押してください。

UPSのアドレス

FTP

ファイル名

ユーザ名

パスワード

> > > > >

作業環境に合わせて UPS のアドレス、パスワードを入力します。UPS のアドレスはデフォルトで「192.168.10.1」が表示されています。また、パスワードのデフォルトは「magic」が設定されています(表示は*****)。

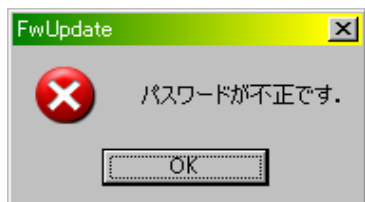
尚、ユーザ名は「admin」が固定表示され変更はできません。

入力を終えたら「情報取得」ボタンを押下します。

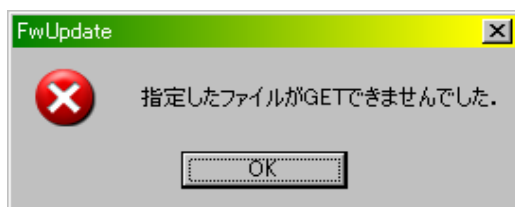
ネットワークの設定データの読出しに成功すると「更新前設定情報ファイル(before.txt)」が作業用ディレクトリに生成され、「F/W の更新」画面に移ります。

設定データの読出しに失敗すると、以下のメッセージが表示されます。

A) パスワードが間違っている場合



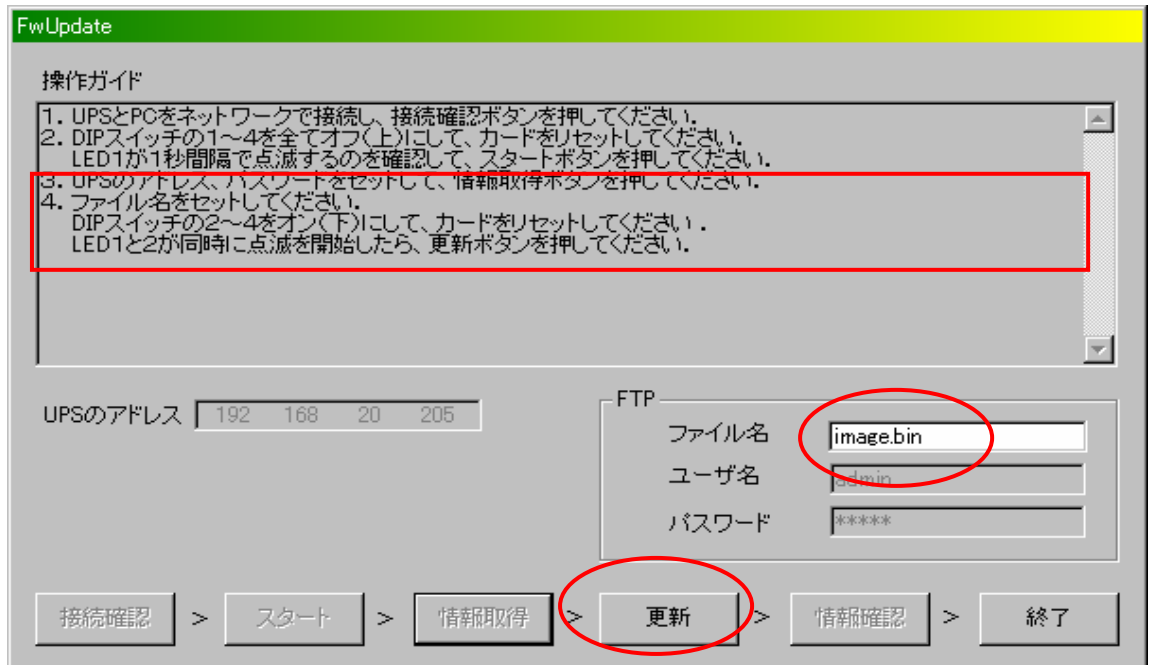
B) UPS の IP アドレスが間違っている場合



IP アドレスもしくはパスワードを入れなおして、もう一度「情報取得」を実行してみてください。

4. F/W の更新

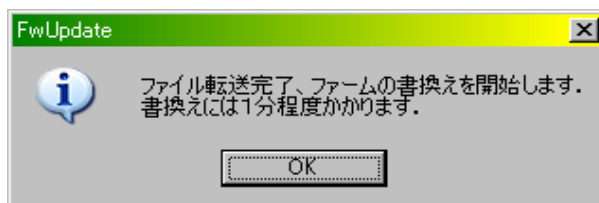
前頁で、ネットワークの設定データの読出しに成功すると、以下の画面が表示されます。



更新する F/W のファイル名を入力し、カードの DIP スイッチ 2～4 をオン(下)にしてカードをリセットします。尚、ファイル名のデフォルトは「image.bin」が表示されています。

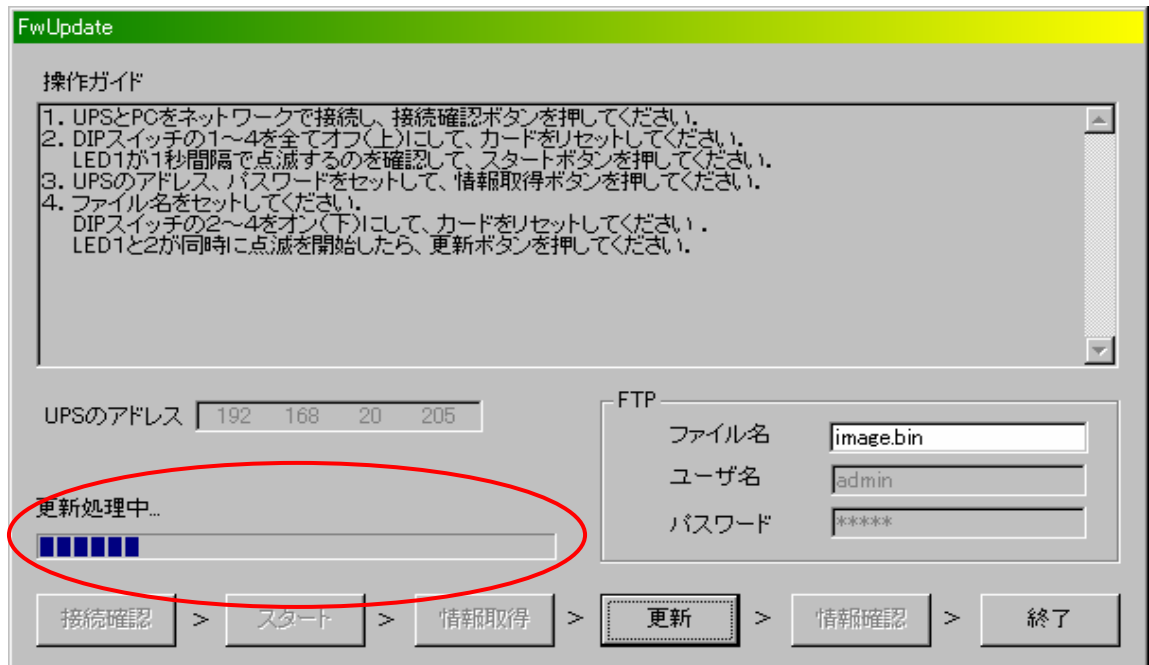
LED1と LED2が同時に点滅を開始したらカード側の準備完了ですので、「更新」ボタンを押下します。

「更新」ボタンを押下すると、更新ツールの「FTP」領域の「ファイル名」に該当するファイル(更新用 F/W)がカードに転送され、以下の「ファイル転送完了」ダイアログが表示されます。

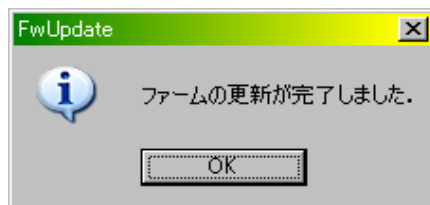


「OK」を押下すると、カード内でファームの書換えを開始し、次頁の更新処理中情報が表示されます。

前頁で「OK」を押下すると、画面に「更新処理中...」メッセージと進行状況を示すプログレスバーが表示されます。更新処理には1分程度かかります。

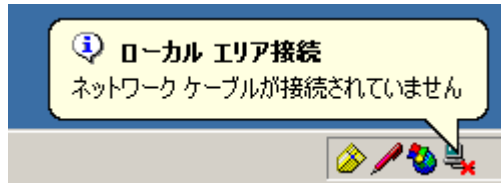


ファームの書換えが完了したら、以下の「ファームの更新完了」ダイアログが表示されます。



「OK」ボタンを押下すると、ダイアログが閉じて「動作確認と登録情報の確認」画面が表示されます。

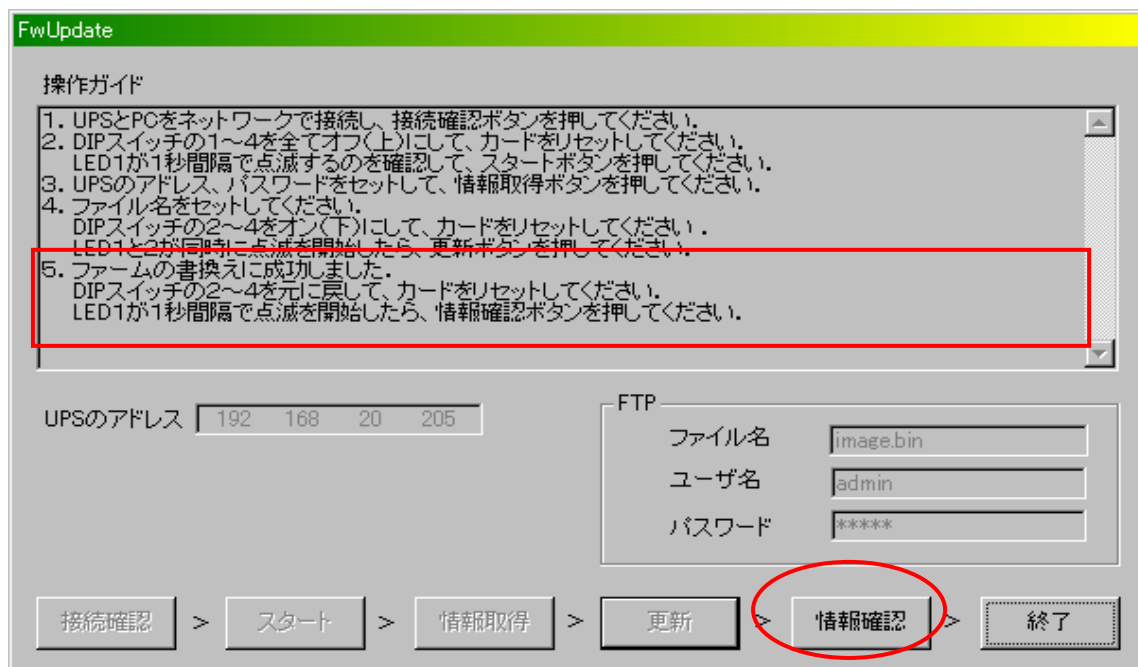
(注) カードのリセット時と同様にファームの書換え時にも、以下のようなメッセージが現れることがあります。



これは、書換え終了時にカードが自動的にリセットするためで、正常な動作です。作業をそのまま継続して差し支えありません。

5. 登録情報の確認

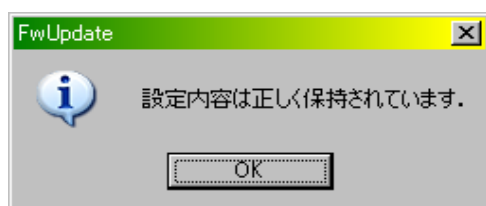
前頁で「OK」ボタンを押下すると、以下の画面が表示されます。



カードの DIP スイッチ 2～4 を元(上)に戻して、カードをリセットします。するとカード内で更新されたファームウェアプログラムが起動します。

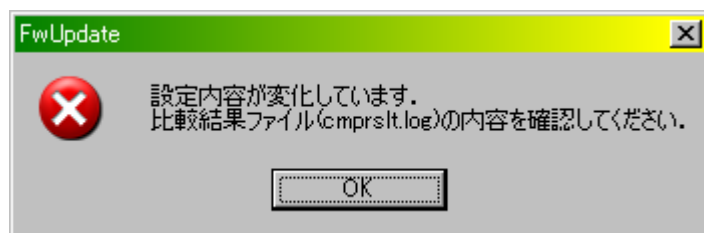
LED1 が 1 秒間隔で点滅を開始したら起動完了しているので「情報確認」ボタンを押下します。ネットワークの設定データが読み出されて「更新後設定情報ファイル(after.txt)」が作業用ディレクトリに生成され、「登録済情報取得」画面で取得済みの「更新前設定情報ファイル(before.txt)」と比較されます。

更新前の設定が更新後の設定と一致すると、以下の「比較結果」ダイアログが表示されます。



「OK」を押下すると「終了」画面が表示されます。

前頁で、万ー比較結果が異なる場合、以下のメッセージ画面が表示されます。



作業用ディレクトリに「比較結果ファイル(cmpresult.log)」が出力されていますので、内容を確認してください。

変化している設定項目があれば、Web ブラウザを使って UPS のネットワークと接続し、設定画面を開いて個別に設定を修正してください。

「OK」を押下すると「終了」画面が表示されます。

6. 終了

前頁で「OK」ボタンを押下すると、以下の画面が表示されます。

(操作ガイドの「6.」の領域に(更新前バージョン 更新後バージョン)が表示されます)

The screenshot shows the 'FwUpdate' window with a green title bar. The main area is titled '操作ガイド' (Operation Guide) and contains a list of 6 steps. Step 6 is highlighted with a red rectangle. Below the list, there are input fields for 'UPSのアドレス' (192, 168, 20, 205) and 'FTP' (File name: image.bin, User name: admin, Password: ****). At the bottom, a sequence of buttons is shown: 接続確認 > スタート > 情報取得 > 更新 > 情報確認 > 終了. The '終了' (End) button is circled in red.

FwUpdate

操作ガイド

1. UPSとPCをネットワークで接続し、接続確認ボタンを押してください。
2. DIPスイッチの1～4を全てオフ(上)にして、カードをリセットしてください。
LED1が1秒間隔で点滅するのを確認して、スタートボタンを押してください。
3. UPSのアドレス、パスワードをセットして、情報取得ボタンを押してください。
4. ファイル名をセットしてください。
DIPスイッチの2～4をオン(下)にして、カードをリセットしてください。
LED1と2が同時に点滅を開始したら、更新ボタンを押してください。
5. ファームの書換えに成功しました。
DIPスイッチの2～4を元に戻して、カードをリセットしてください。
LED1が1秒間隔で点滅を開始したら、情報確認ボタンを押してください。
6. 更新作業はすべて完了です、お疲れさまでした。(FNJ-1.35 ⇒ FNJ-1.39)

UPSのアドレス 192 168 20 205

FTP

ファイル名 image.bin

ユーザ名 admin

パスワード ****

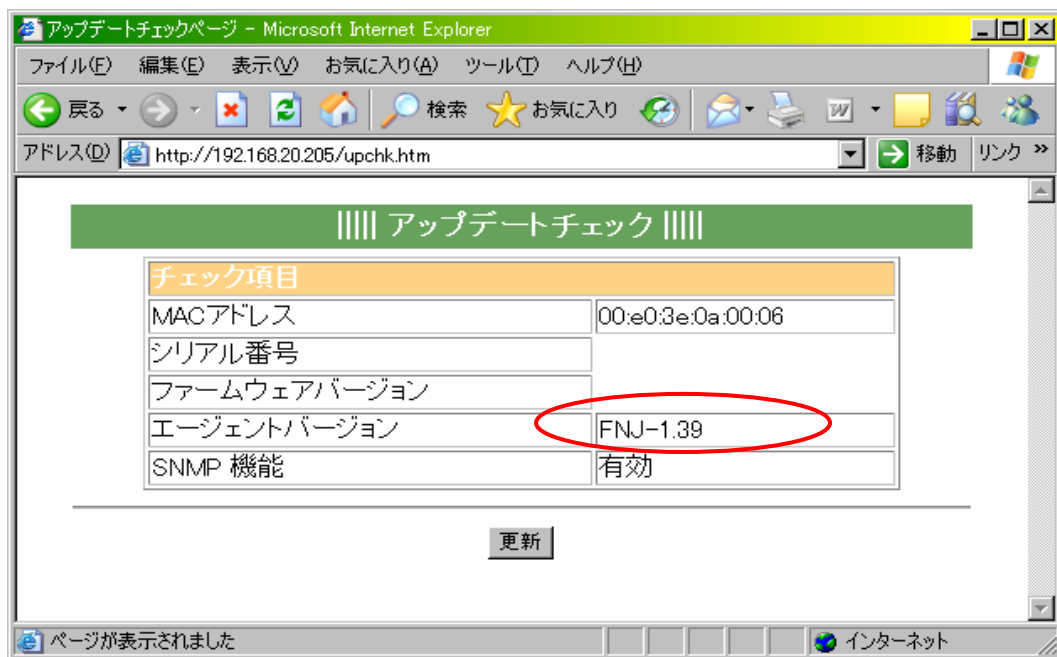
接続確認 > スタート > 情報取得 > 更新 > 情報確認 > 終了

以上で F/W の更新は終了です。

「終了」を押下するとプログラムは終了します。

6 . バージョンチェック

F/W が間違いなく更新されたことを確認するために、バージョン番号を確認しておいてください。それには、Web ブラウザを使って UPS のネットワークと接続し、「アップデートチェック」の画面を表示します。



具体的には、Web ブラウザを開いて、アドレス入力領域に次のアドレスを手入力します (IP アドレス部分は実際の設定にしたがって変更してください)。

<http://192.168.10.1/upchk.htm>

「エージェントバージョン」が「1.39」になっていれば OK です。

7 . 作業用 PC の復元

【作業用 PC の準備】で PC のネットワーク設定を一時的に変えた場合は、最後に、間違いなく設定を元に戻しておいてください。

以上